

---

# 幽霊退治

遥風 覇鵠渡

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幽霊退治

### 【Nコード】

N0699F

### 【作者名】

遥風 霸鶴渡

### 【あらすじ】

俺は、自分の部屋に……望まれぬ同居人がいるらしい事に気付いた。

俺は最近、不味いことに気付いちまった。

どうやら俺の部屋には、望まれぬ同居人がいるらしい。

そういえば、1カ月前からおかしな事はあったような気がする。

閉めたはずの鍵があいていたり、歯ブラシが女ものに代わっていたり……。

しかしあれだ、決定的なのは。

散歩から帰って来ると、部屋のものが全部入れ代わっていた、という事件。

仕方なくこうして生活してるけど、いい加減やばいってのは、わかっている。

特に押し入れ、押し入れやばい。

何か妖気が出ちゃってるし、開こうとしてもビクともしない。

そろそろ引っ越したいけど、そんな金はない。

「つつつ事で、塩買ってきた」

俺は押し入れの住人に聞こえるように、そう言った。

しかし、押し入れからは物音一つしない。

手に汗握るとは、まさにこの事だ。

俺はにじりにじりと、押し入れの引き戸に手をかける……。

「おらあああああつ！」

[illegible]

キヤ―！

押し入れの中に居たのは、恐ろしいぐらいにボサボサの長い髪の女。  
凄まじい叫び声をあげたのは、そいつだ。

心臓が止まる程恐怖したが、直ぐ様バシンと押し入れを閉めた。

や、やばいやばいやばい……アレはやばいって、まじやばいって……

…。

緑っぱいパジャマの髪の長い女……。

俺は突っ掛けを履いて部屋を出た。カンカンカンと階段をおりて、陽当たりの良い、ボロアパートの101号室を目指す。

「管理人さん、管理人さん！ あの部屋出る、助けて！」

ドンドンドン木製のドアを叩くと、ガチャガチャ鍵をあける音がして、管理人のおじさんが恐怖にひきつった顔を出す。

「あ、あんた。3ヶ月前に死んだ、引きこもりの……」

やっべっ俺、餓死したんだっただ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0699f/>

---

幽霊退治

2010年10月28日07時49分発行